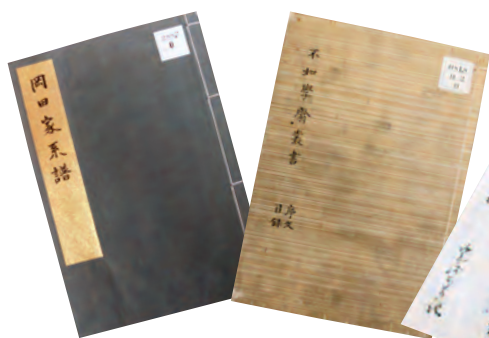


第1部：府大図書館蔵『不如学斎叢書』と瀧村文庫

— 維新の影に生きた二人の幕臣・岡田景徹と瀧村鶴雄 —



大阪府立大学貴重図書専門部会講演会

資料でたどる近代

— 住吉大社御文庫・大阪府立大学蔵書を中心に —

2015.11.18 (水) 14:00-16:30

大阪府立大学 I-site なんば 2階カンファレンスルーム

講師：山中 浩之 氏 (大阪府立大学 名誉教授)

大橋 眞由美 氏 (大阪府立大学 客員研究員)

※講演会当日に、資料の一部を会場にて展示する予定です。



第2部：輝文館の出版物を通して見た近代大阪の庶民性

— 住吉大社御文庫蔵書『大阪パック』と『天下一品 赤雑誌』を資料として —

●申込み方法

1. 氏名 (ふりがな)、2. 郵便番号・住所、3. 電話番号 を明記の上、
「往復はがき」または「Eメール」でお申込ください。

※申込締切 2015年10月30日(金)【必着】

<往復はがき> 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1

大阪府立大学 学術情報センター図書館「資料でたどる近代」係

<Eメール> tosyo27@ao.osakafu-u.ac.jp

※携帯電話のメールでの申込は受付していません。

●定員 100名 (申込多数の場合は抽選)

●受講料 1,000円 (資料代を含みます。当日受付でお支払いください。)

●問合せ先 072-254-9159 (平日 9:30 ~ 17:30)

●主催 大阪府立大学 学術情報センター図書館、上方文化研究センター

●協力 住吉大社、大阪府立中之島図書館

※お申込みの際の個人情報は、事務連絡、統計資料等の作成および本公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については一切いたしません。なお、いったんお支払いいただいた受講料は返金できません。予めご了承ください。

第1部：府大図書館蔵『不如学斎叢書』と瀧村文庫

— 維新の影に生きた二人の幕臣・岡田景徽と瀧村鶴雄 —

大阪府立大学学術情報センター図書館貴重書庫に所蔵する最も大部な叢書として『不如学斎叢書』と題する167冊に及ぶものがある。これは岡田景徽という幕末期の下級幕臣が筆録したもので、巻頭に勝海舟自筆の序文が付されている。本書は、19世紀海防問題に関わる幕府機密史料を中心に筆記したものでそれ自体貴重な史料集となっている。これを筆録した岡田景徽という人、そして勝海舟との関係を通して幕末期幕臣の一動向をまず見てみたい。

そして本叢書がなぜ府大に蔵されるに至ったのかに関わって瀧村鶴雄という旧幕臣の軌跡をたどってみたい。瀧村鶴雄は大阪府女子専門学校初代校長瀧村斐男の父である。府大貴重書の最初はこの人の蔵書であった。岡田景徽・勝海舟・瀧村鶴雄という幕臣たちはどのような関係にあり、幕末明治という時代をどのように生きたのか、蔵書をみながら垣間見ることが出来ればと思っている。

講師：山中 浩之 氏（大阪府立大学 名誉教授）

第2部：輝文館の出版物を通して見た近代大阪の庶民性

— 住吉大社御文庫蔵書『大阪パック』と『天下一品 赤雑誌』を資料として —

現在、アジア系の旅行者でにぎわう心斎橋筋は、江戸時代には「本の街」と呼ばれていた。明治になり、新しい出版形態である新聞と雑誌が生まれ、『大阪朝日新聞』や『大阪毎日新聞』などのマスメディアが登場して、近代大阪の心斎橋筋周辺では、江戸時代同様に出版関係者が軒を並べていた。

明治の末頃、そのような一角を創業の地として、輝文館はユニークな漫画雑誌と風刺雑誌の刊行を開始した。それらは、長寿漫画雑誌として有名な『大阪パック』（1906-1950 改題を経る）と、殆ど世に知られていない『天下一品 赤雑誌』（1908-1909 推定）である。いずれの雑誌にも、近代広告の導入とツーリズムへの関心、そして「エロ・グロ・ナンセンス」の先駆的な傾向が指摘でき、大阪人の好奇心や「いちびり」精神が垣間見える。

住吉大社御文庫蔵書の『大阪パック』と『天下一品 赤雑誌』を資料として近代大阪の庶民性を概観したい。

講師：大橋 眞由美 氏（大阪府立大学 客員研究員）



『鳴鶴遺稿』

瀧村鶴雄の肖像

（大阪府立大学蔵書）



『不如学斎叢書』

勝海舟自筆の序文

（大阪府立大学蔵書）



『天下一品 赤雑誌』

明治四十二年五月号

（住吉大社御文庫蔵書）



『大阪パック』第十六年第十一号

（住吉大社御文庫蔵書）



会場（I-site なんば）までのアクセス

- 南海電鉄 なんば駅
なんばパークス方面出口より約800m、徒歩約12分
- 地下鉄御堂筋線 なんば駅
5番出口より約1,000m、徒歩約15分
- 地下鉄御堂筋線・四つ橋線 大国町駅
1番出口より約450m、徒歩約7分
- 地下鉄堺筋線 恵美須町駅
1-B出口より約450m、徒歩約7分

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号
南海なんば第1ビル2・3階
（※建物北側の大阪府立大学専用入口からお入りください。）